

教科	国語	学年	第2学年	担当者	波戸内 剛
----	----	----	------	-----	-------

【教科目標】
国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

【使用教科書・教材等】
・教科書（「国語2」光村図書出版）・ワーク　・文法ワーク　・教科書（「中学書写二・三年」光村図書）　・習字道具

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1学期	1、広がる学びへ 見えないだけ（詩） アイスプラネット（小説） 枕草子（古文） 多様な方法で情報を集めよう（情報） 2、多様な視点から クマゼミ増加の原因を探る（説明） 魅力的な提案をしよう メディアを比べよう（情報） 3 言葉と向き合う 短歌に親しむ 読書生活を豊かに ○ 書写	抽象的な概念を表す語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにする。 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。 現代語訳や語注を手掛かりに古典作品を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。 社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする 構成や展開、主張と例示との関係、文章と図表の結び付けを捉える。 自分の立場や考えが明確になるよう、根拠の適切さや論理の展開など話の構成を工夫する。 目的に応じて複数の情報を整理し、適切な情報を得て、内容を解釈する。 短歌の構成や表現の効果について考え、自分の考えが伝わるよう工夫して短歌を詠む。 点画の省略、筆順の変化など行書の書き方を学ぶ。	教科書 ファイル ワーク 文法ワーク
2学期	○ 文法（自立語） 4、人間のきずな 盆土産（小説） 字のない葉書（随筆） 表現を工夫して書こう 5、論理を捉えて モアイは語る（論説） 根拠の適切さを考えて書こう 立場を尊重して話し合おう 6 いにしえの心を訪ねる 源氏と平家（古文） 扇の的（古文） 仁和寺にある法師（古文） 漢詩の風景（漢詩・解説） ○ 書写	活用のない自立語、活用のある自立語について理解する。 語彙力を豊かにし、登場人物の言動の意味について考え、内容を解釈する。 文章中からさまざまな立場や考え方を捉え自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 相手や目的に応じて敬語を用い、具体例を入れるなど表現を工夫するなどし、通信文を書く。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係や文章の構成や論理展開について考える。 適切な根拠を考え、自分の意見が明確に伝わるように、文章の構成を工夫して意見文を書く。 目的や場面に応じて、異なる立場や考え方を想定し、材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 現代語訳や語注を手掛かりに、古典に表れたものの見方やや考え方を知り、音読する。 繰り返し朗読し、登場人物の言動や意味などについて考え、内容を解釈する。 文章を読んで理解したこと、考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げ、深める。 朗読し、漢詩を比較し、漢詩の構成や表現の効果について考える。 行書の特徴を捉え、書き初めの練習を行う。	教科書 ファイル ワーク 文法ワーク 書写の教科書 習字道具
3学期	7 価値は語る 君は「最後の晩餐」を知っているか 魅力を効果的に伝えよう 8、表現を見つめる 走れメロス 構成や展開を工夫して書こう 国語の学びを振り返ろう（話し合い） ○ 文法 ○ 書写	文章を比較し、構成や表現の特徴を捉え、筆者の書き方の目的や意図を考える。 読み手を意識して鑑賞文を書き、読み手の助言を踏まえ自分の文章の良い点、改善点を見つける 登場人物の言動の意味について考え、内容を解釈し、作品の魅力についてまとめ、語り合う。 文章の構成や展開、表現を工夫し物語を書き、助言し合う。 1年間の学習を振り返り、国語を学ぶ意義を見いだす。 学習した内容の文法を再度復習し、定着させる。 行書と仮名を調和させて書くことを学ぶ。	教科書 ファイル ワーク 文法ワーク 書写の教科書

評価の観点	知識・技能 3 3 %	思考・判断・表現 3 3 %	主体的に学習に取り組む態度 3 3 %
評価の観点の趣旨	漢字や語句の意味、文法を理解するなど社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしているか。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。	言葉がもつ価値に気づこうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしているか。また、粘り強く課題解決に向けて学習に励んでいるか。
評価の方法	・単元テスト・ワークシート ・小テスト　・書写	・単元テスト　・ワークシート ・パフォーマンス課題　・作文	・行動観察　・振り返りシート ・ワークシート　・テスト ・パフォーマンス課題

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）
・教科書をよく読みましょう。繰り返し読んで、しっかり自分の考えや感想を持つことが大切です。 ・教科書以外の本もたくさん読みましょう。分からない言葉に出会ったら辞書で調べ、語彙力を高めましょう。 ・授業は受け身ではなく、主体的に取り組みましょう。先生が投げかけた発問についてしっかり考え、自分の答えを持とう。 ・自分の意見や考えを、しっかり言葉にし、相手に伝えるようにしましょう。相手の意見も聞き、そこからさらに考えを深めよう ・学習課題に対して自分が何をすべきか考え、計画的に取り組みましょう。 ・結果から、自分の行動や取り組みを振り返り、分析しましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）
・基本的にはテストや課題を把握し、どのように取り組むべきかを計画的に考えて学習に取り組みましょう。 ・国語力は授業だけで身につくものではありません。日常的にさまざまなところで学習する機会があります。新聞を読む、本を読むなどもその大切な機会です。活字を親しみ、国語力をアップさせましょう。 ・自己表現力も大切です。いろいろな場で自分の意見を積極的に発表し、表現力を高めましょう。